

エピソード

扱いやすい大きさに切った段ボールと水をタライに入
 れると、子ども達は段ボールを上からギュッと押して水を
 染み込ませていきます。すると段ボールはふやけてきて紙
 のように平面の部分と波型の部分にめくれました。簡単に
 分かれることが面白く、いくつもめくっていくうちに「見て
 ギザギザしてる」「馬の背中みたい」「線線（縞模様）にな
 ってる」と気付いたことを友達や保育者と伝え合いました。
 小さくちぎったり、折り紙のように折ったりなどいろいろな
 触れ方を楽しむ中で、一人が段ボールを保育室の扉の近
 くに持って行きました。すると、水に濡れている段ボールが
 扉にピタッとくっつき、手を離しても落ちませんでした。「わ
 あ!見て!くっついた」と驚いた声を聞いて友達もやってき
 ました。「すごい!」「私もやってみよう」と同じようにやっ
 てみると「本当だ。くっついた」と面白さを感じ、「つなげてつ
 けよう」「〇〇ちゃんの隣につけたい」と、扉いっぱい段
 ボールをくっつけることを楽しみました。「なんでくっつく
 の?」と疑問に感じた子どもに対して保育者が「なんでだ
 ろうね?のりつけてないのにね」と答えると「水がついてる
 からだと思う」「水でくっつくねん」と面白さや不思議さ
 を感じる姿もありました。

子どもの育ちや学び

めくる・ちぎる

馬の背中みたい
(気付き・見立てる)

折る

折ってみよう
(試す・やってみよう)

扉にくっつける

くっついた!
(驚き・発見)本当だ!
僕もやってみたい(興味)

- ・水を染み込ませる、めくる、千切る、折る、貼るなど、段ボールとのいろいろななかかわり方を楽しんでいる。
- ・水で濡れた段ボールが扉にくっつくことに気付く。
- ・友達のしていることに興味をもち、同じようにやってみたり真似したりすることを楽しむ。

保育者の思い

- ・子ども達が段ボールをどのように遊ぶのか知りたいと思い、そっと見守りました。水でふやけて簡単にめくれるようになったことで、千切る、折る、貼るなどいろいろななかかわり方が見られました。
- ・「やってみたい」と思った時にすぐに遊べるように、扱いやすい大きさやいろいろな形に切った段ボールを多めに用意しました。
- ・段ボールが扉にくっつく面白さや不思議さに寄り添いたいと思い、共感したり、同じようにやってみたりしました。

家庭だったら・・・

子ども達にとって身近なものである段ボール。家庭ではどのように遊んでいますか?中に入って電車にしたり、囲いにして家に見立てたり…。製作遊びにも使えますね。ぜひ、面白い遊び方を教えてください。